

行政と住民 住民と住民の架け橋(情報提供)

これまで、自治会の安全で明るいまちにするためのさまざまな活動や取り組みについてお伝えしました。今回は、行政と住民・住民と住民への架け橋としての自治会の役割をご紹介します。

行政と住民の架け橋

行政情報の伝達

地域や行政から届く大事なお知らせなどを回覧板や掲示板で情報提供しています。

また、市広報の配布も行っており、多くの自治会では毎月公民館などで、市広報や行政からのお知らせ文書を隣組ごとに分けるなど、住民の皆さんへお届けする作業を行っています。



掲示板



広報仕分けの様子

地域情報の伝達

地域内の道路や水路など修繕してほしいところについて、自治会で住民の意見をとりまとめて市へ要望し、補修や改善を行っています。

【例】坂本区自治会より、通学路整備(学院中学校)の強い要望があり、中学生の安全確保のため、今年の7月に歩道の整備を行いました。



工事前



工事後

住民と住民の架け橋

地域の情報発信

多くの自治会では、地域の出来事や行事のお知らせなど地域の情報をまとめた自治会新聞を発行し、住民の皆さんへお知らせしています。



自治会新聞



最近の活動状況

9月3日(木)～11月2日(月)

太宰府東小校区 自宅でできるロコモ予防・改善の運動

太宰府東小校区自治協議会では、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、校区内の5地区の公民館で出前健康講座を実施しています。コロナ禍で外出する機会も減る中、地域住民をつなぐコミュニティの場となっています。講座では、「姿勢」を意識しながら身体を動かし、参加者同士でコミュニケーションを取りました。最後は音楽に合わせて体を動かし、参加されたみなさんは心身ともにリフレッシュされました。



太宰府東小校区

自治会活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。